

令和3年4月8日（木） 定時制始業式あいさつ

皆さん、改めましておはようございます。始業式にあたり、私から少しだけ話をさせていただきます。

昨年は、いろいろなことがありました。新型コロナウイルスへの対応で、3月から5月までの間は臨時休校となりました。また、7月の豪雨災害では甚大な被害が発生し、皆さんの生活が大きく変わってしまったと思います。思うようにならない状況が続きますが、今の状況を受け止めて、できることを工夫しながら学校生活を充実させていかねばならないと思います。

さて、4月4日、水泳の日本選手権で池江璃花子選手が100メートルバタフライで優勝し、見事に東京オリンピックの代表に内定しました。皆さんもこのニュースは御存じでしょう。

池江さんは、中学時代から将来有望な選手として活躍し、今も多くの日本記録を持っています。しかし、一昨年の2月、18歳の時に自ら白血病を患っていることを公表し、10か月間の長期療養を行っていました。辛く苦しい闘病生活の中で、体重は以前より18kgも痩せてしまったそうです。

周囲には、「東京の次のオリンピックを目指していく」と語り、今も病気と向き合いながら少しずつ少しずつ、でも着実に練習に取り組む姿は、テレビなどでも時折報じられていましたが、まさか、このタイミングで優勝を勝ち取るとは、正直私は思っていませんでした。

病気から復帰して練習を再開した当初、他の選手より前を泳いでいた自分が、これまでと逆に、周囲についていけない自分となっている、そのギャップを受け入れることがなかなか出来なかったそうです。そのような葛藤の日々を過ごす中で、前の自分と今の自分を比べてはだめだ、と思うようになったそうです。

昔の自分と比べるのではなく、今の自分にチャレンジしていく。今できることをがんばる、という姿勢で日々の努力を積み重ねていたのではないのでしょうか。優勝インタビューで涙ながらに「努力は必ず報われる」と話していた池江さん。予選、準決勝、決勝と記録を伸ばし、つまり、3回も今の自分に勝って、結果として再び日本一の栄冠に輝き、一度は諦めていた東京オリンピックの切符を掴んだわけです。本当に感動しました。

今日の自分を超えるために、自分のなすべきことに日々取り組む。そんな毎日を積み重ねていくことで、いつか自分の求めているものを手にすることができるのだと改めて学びました。

今日から新しい学年の始まりです。

明日、新入生が入学してきます。皆さんも自分が入学した時の事を思い出して、温かく迎えて欲しいと思います。そして、人定のスローガンである「楽しくNight!」で学校生活を送って欲しいと思います。今年一年、よろしくお祈りします。(校長 前田浩志)